

### 同じ釜の飯の効果（平成 30 年 11 月 15 日更新）

30 期生は初めての实習である流通業経営診断実習に突入しました。本日は、実習先企業で集めてきたヒアリングデータや実測データ、アンケート調査結果、そして競合店調査などの膨大なデータを徹底的に洗い出しての分析を行っています。

この実習期間中は、養成課程の全カリキュラムの中でも最も濃密な時間で、8 名の班員は、朝から晩まで一緒に行動をしています。それは昼休みでも例外ではありません。もちろん休憩時間中の行動は自由ですが、休憩前にしていた議論が、そのまま食堂の食卓の上まで持ち越されることもしばしばです。

演習でも実習でも、グループで議論して学びを深めていく養成課程のスタイルが、よく現れているシーンのひとつです。同じ釜の飯を食べた同期、という言い方があります。来週水曜日の報告会ではそこまでコミュニケーションを深めた議論の効果が発揮されることでしょう。

